

# 詩篇 100 篇

2008. 1. 14

intro

F Am7 D7 Gm7 C7 F

F Am/E Dm Bb C7 Am D7 Gm7

F Am7 Bb Bb F/C Gm7 F

C/E Dm Am/C Bb C7 Am7 D7

Gm7 C7 F so/lo F Am/E Dm Bb C7

Am7 D7 Gm7 Am7 Bb G7/B F/C Gm7/C

C7 F C/E Dm Am/C

Bb C7 Am D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

Am7 D7 Gm7 C7 Bb Am7 D7 Gm7 C7

F

せんち

よ 主 に向かっ て よろこ びの こえをあげよ

よろこ びを 主 に向かっ て

に つか えよ

よろこ びを 主 に向かっ て

みま え に来たれ

知れ 主こそが 主

が いたした

と つかえよ

た いたした

は 主の 民の 主の た

み ことの まきは

の つかえよ

かた 主の 民に

に せんびつ

つ その おおに

に はいれ 主に

かたし みを ほめ

た たえよ 主は

いつく しめ しか

く その おおに

は こしえま

で その つかえよ

は 世々に いた

る

全地よ。主に向かって喜びの声をあげよ。  
 喜びをもって主に仕えよ  
 喜び歌いつつ御前に来たれ。  
 知れ。主こそ神。主が、私たちを造られた。  
 私たちは主のもの、主の民、その牧場の羊である。  
 感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭に、はいれ。  
 主に感謝し、御名をほめたたえよ。  
 主はいつくしみ深くその恵みはとこしえまで、その真実は代々に至る。